



Trusted Digital Ecosystems テクニカル・ショーケース

デモの方法を習得

目次

デモ方法の理解と実践

デモの事前準備

- デモのセットアップ
- テスト練習
- アプリのリセット

デモ中に困ったときは
プレゼンにおけるデモ
より丁寧なデモの方法





デモ方法の理解と実践

デモ実践までのステップ



Watch - まずは講師によるデモを見る。



Read - デモのシナリオを確認する。



Setup - デモに必要なアプリをインストールしWEBページを開く。



Practice - シナリオに従ってデモを実践する。



デモを見る

自分で実践することを意識して講師のデモを見てください

デモ動画はこちら

<https://youtu.be/RMZlop-TvnQ?feature=shared>



デモのシナリオを読む

デモスのシナリオ



デモのセットアップ

アプリやWEBページを開く

デモ用のアプリとWEBページ

デモに必要なもの

- インターネットに接続可能なスマートフォン1台
- インターネットに接続可能なパソコン1台
- Holdr+アプリ（Walletアプリ）
- デモ用のWEBページ
 - <https://issuer.finance.indiciotech.io/admin>
 - <https://finance.indiciotech.io/>
 - <https://verifier.finance.indiciotech.io/>

<オンライン・デモの場合>

- スマートフォンとパソコンを接続するUSBケーブル
- 画面共有アプリ（ex: Vysor）





実践

シナリオ沿ってにデモを実践してみてください



デモの事前準備

デモの事前準備

1. 必要に応じてWalletアプリをリセットしておく
2. デモのシナリオをひと通りテスト練習しておく
3. 不明点があればヘルプ窓口に問い合わせしておく
4. テスト練習の後は、Walletアプリをリセットしておく



デモの事前準備

Tip 1

デモ中のトラブルに備えたり、他の人とデータ共有したりするために、バックアップ用の録画を用意しておくことを計画してみてください。

Tip 2

一人がデモを操作して、もう一人がデモを説明することをお勧めします。二人で分担することで、デモをスムーズに行うことができます。

デモの事前準備

Tip 3 (オンライン・デモの場合)

通信速度の悪い環境でデモを行う場合、いくつかの対応策があります。

- ビデオカメラの電源を切る
- 無線LANの代わりにイーサネットケーブルを接続する
- パソコンで起動中の他のソフトを閉じる
- より通信速度の良い環境にいるチームメンバーに、デモやビデオを画面共有してもらう
- 通信トラブルが予測される場合は、事前にデモビデオをメールで送る



デモ中に困ったときは

デモ中に困ったときは

トラブルが発生したタイミングによっては、デモを見せるまでにすべてを解決する時間がないかもしれません。

その場合は、次のような対応を判断してください。

- デモの少なくとも一部を進める
- 事前録画の有無にかかわらず、デモの内容について話し合う
- デモの実施日を改める



プレゼンにおけるデモ

プレゼンにおけるデモ

- デモは、プレゼンテーションの一部として行われることが多い。
- デモで使用するソフトウェアの特長を説明するスライドを、デモの前のプレゼンテーションで説明することをおすすめします。
- プレゼンの流れ：
 - デモの前に特長を説明する
 - デモを実施する
 - 特長をおさらいする
 - 最後に、質問を受け付ける



より丁寧なデモの方法

より丁寧なデモの方法

デモの背景を説明する

- デモの相手に関連する利便性、技術、標準、ユースケースについて言及してください。
- 背景の説明は、相手が「点と点」を結んで、なぜDID/VCが必要なのかを理解するのに役立ちます。
- 背景の説明には、十分な練習が必要です。

より丁寧なデモの方法

デモはゆっくり

- デモの操作と説明に慣れてくると、自分が理解できるペースで進めたいくなります。
- しかし、デモの相手にとっては初めての体験で、圧倒されているかもしれません。

より丁寧なデモの方法

質問のための時間をつくる

- デモを一時停止して質問に答えるのが適切な対応です。
- 相手は、すぐに質問に答えてもらうことで、より多くのことを理解できます。



ご清聴ありがとうございました